

愛知県・名古屋市における新広域道路交通計画 ～交通・防災拠点計画～

新広域道路交通ビジョン（愛知県・名古屋市版）を踏まえ、以下のとおり「交通・防災拠点計画」を策定する。

1. 将来像（目指すべき姿）

＜愛知県・名古屋市の将来像＞

1. 世界から選ばれる魅力的な愛知
2. 危機に強く、イノベーションを創出する愛知
3. リニア時代のリーダー都市となる名古屋

2. 交通・防災拠点計画の基本方針

＜交通拠点＞

- ① リニアの開業効果を高める交通ネットワークの結節点の強化

＜防災拠点＞

- ② 「道の駅」の防災拠点化

3. 交通・防災拠点計画

1) 交通拠点計画

リニア中央新幹線により、首都圏との所要時間が約40分へと大幅に短縮されることから、この時間短縮効果をより広域的に波及させるため、玄関口となる名古屋駅のスーパーターミナル化を推進する。

現状、多数の交通機関が集中し、駅やバスターミナルが地上・地下に配置され、複雑で入り組んだ構造となっている名古屋駅について、鉄道ネットワークや道路ネットワークを始めとする交通基盤を最大限活かすため、わかりやすい乗り換え空間「ターミナルスクエア」の形成など、交通結節機能を強化する取り組みを推進する。

また、複数の交通手段が接続し、乗り継ぎが行われている鉄道駅やバス停などの拠点について、アクセスの充実や利用環境の向上に向けた取り組みを進め、乗り継ぎがしやすい交通結節点の形成を図る。

<交通拠点計画一覧表>

【様式1-1】

都道府県 政令市名	所在地 (市区町 村)	計画名等	拠点名	現状と課題	強化策	関連する交通モード									
						接続拠点					交通手段				
						港	空 港	鉄 道 駅	S A/ P A 高 速 I C	バ ス ター ミ ナ ル	船 舶	飛 行 機	鉄 道	バ ス	自 動 車
愛知県	名古屋市	・名古屋駅周辺交通 基盤整備方針 (H30.3月) ・あいちレポート2015 (H28.3月) ・名古屋駅周辺まち づくり構想(H26.9月)	名古屋駅	・リニア開業後の名古屋駅は、東海 道新幹線とあわせた2つの新幹線を はじめ、様々な交通機関が結節す る、我が国为数の巨大ターミナル駅 となり、中京大都市圏の玄関口とし ての役割を担う。 ・しかしながら、現状の駅は、駅やバ スターミナルが地上・地下に配置さ れ、複雑で入り組んだ構造となっ ていることから、来訪者にとってわかり づらい状況にある。 ・一方、名古屋駅周辺においては、 2015 年 10 月に「大名古屋ビルデ ング」が、同年11 月には「JPタワー 名古屋」が相次いで竣工したほか、今 後も、名鉄名古屋駅の再開発計画な ど、民間による再開発が進展してお り、こうした取組との連携・調整を図り ながら、まちづくりを進めていくことが 課題。	＜スーパーターミナル化＞ ・現状の駅構造を活かした施設の改 良などにより、乗換等の利便性・快 適性を図る。断面イメージや、高速ア クセス向上の考え方まで整理済み。 ・地上及び上空・地下を活用した歩 行者ネットワークの強化 ・中央コンコースと地下鉄東山線を結 ぶ、出来る限り直線的な乗換動線を 確保するなど、ターミナルスクエア内 の動線、各階に持たせる機能まで検 討を進めており、整備イメージを固め ている。 ・バスターミナルの集約、広場空間の 形成などについてもまちづくりの方向 性を踏まえ、推進する			◎		○			◎	○	○
愛知県	名古屋市	・金山駅周辺まちづ くり構想(H29.3月)	金山駅	・金山地区では、平成元年の総合駅 化後、駅南側では平成11年に金山 南ビルと駅前広場、駅北側では平成 17年にアスナル金山を整備するなど まちづくりが展開されてきた。それに 伴い、人の流れや開発動向に変化 が見られ、金山総合駅の一日の乗降 客数が中部圏で名古屋駅に次いで2 番目となる一方で、防災面などの新 たな課題も生まれてきている。 ・金山は名古屋城と熱田神宮を結ぶ 歴史的な都市軸上に位置するととも に、海外との玄関口である中部国際 空港と、リニア中央新幹線の開業が 予定されている名古屋駅を結ぶこれ からの人の動線軸上にも位置してい る金山の位置づけは今後、より高ま り都市機能の集積など新たな役割を 果たすことが大いに期待されている。 ・H29.3に策定した金山駅周辺まちづ くり構想では、課題として、交通結 節点機能の充実、駅利用者の滞留空 間等の充実などが挙げられており、 「交通結節点の機能強化」や「にぎ わいとうおいの継承・発展」などの基 本方針を掲げ、取り組んでいくことと されている。	・「交通結節点の機能強化」とし て、乗り継ぎ利便性の確保、情報発 信機能の充実、来街者向けサービ スの提供に、「にぎわいとうおいの継 承・発展」としては、都市機能の集 積、商業機能等の再編、金山地域内 外の回遊性の向上について取り組ん でいく。 ・具体的には、アスナル金山エリア の再整備にあわせ、交通ターミナル (バスターミナル、駐車場、自転車駐 車場、タクシー乗り場)を再整備す べく検討を進めるとともに、JR及び名 鉄の上部空間を活用したバスターミ ナルの可能性についてもターミナルと しての需要を把握しつつ検討していく。			◎		○			◎	○	○

2) 防災拠点計画

巨大地震や激甚化する風水害への備えとして、ハード・ソフト両面からの防災・減災対策を推進することが必要であり、道路交通面においては、全ての道の駅を対象に、災害時に求められる機能に応じた必要な施設・体制を検討する。特に、災害時に高度な防災機能を発揮する道の駅については、防災活動拠点としての機能強化を検討する。

<防災拠点計画一覧表>

【様式1-2】

都道府県 政令市名	計画名等	拠点名	現状と課題	強化策	所在地
愛知県	○愛知県地域防災計画 (R2.7) ・地域活動防災拠点 ○道の駅直轄一体型	道の駅とよはし	直轄国道一体型の道の駅であり、大規模災害時に広域的な復旧・復興活動拠点としての強化が必要	BCP策定による体制強化を図る	豊橋市
愛知県	○愛知県地域防災計画 (R2.7) ・地域活動防災拠点 ○道の駅直轄一体型	道の駅 筆柿の里 幸田	直轄国道一体型の道の駅であり、大規模災害時に広域的な復旧・復興活動拠点としての強化が必要	貯水槽や防火倉庫等の防災施設の強化、BCP策定による体制強化を図る	幸田町

■ 交通拠点計画図（愛知県）



